

# 鶺鴒 鮎つうしん

岐阜ダルクニュースレター平成23年夏号 (No.31)



## 「この笑顔のために」

岐阜ダルク後援会 齋藤幸二

ダルクのメンバーが私たちにを見せてくれる笑顔にいつも感動します。メンバーを励ますよりも、私のほうがこの笑顔に癒され、元気にされるのです。

「なぜこんなに純真で素敵な笑顔で接してくれるのだろう・・・。」理由を知りたくて施設長の遠山さんにお聞きしたら、こう話してくださいました。

「仲間たちは最初の内は自分に対しても、また自分を受け入れてくれない社会や周囲に対しても激しい怒りの感情を持っています。そしてその怒りを毎日のミーティングでぶちまけるのです。でも怒りの感情を吐き出しつづけても、自分の語ることを受け止められ、また語る自分もあるがままで受け入れられている事を知ると、安心し、ダルクを信頼するようになります、またダルクを支援している人々に対しても安心感をもち、信頼するようになるのです。」

ダルクの仲間たちの笑顔は、普通の青年たちにはほとんど見ることがない、輝きのある笑顔です。それは宝石が地下の深い所で、大きな圧力で形成されるように、自分への挫折や絶望の中で生み出された、希少価値を持つ笑顔だからなのでしょう。私たちに向けられる彼らの笑顔は失望や絶望、不信の中で、信頼できるものにめぐり合えた、という安心と喜びの笑顔なのです。

この笑顔がいつまでも輝き続けるように、そしてこのような笑顔がこの社会にふえてゆくように、どうかこれからもお祈りください。

## 仲間の体験談



step4 をするきっかけを先行仲間にもらい、step5 をする人を探せませんでした。step5 を聞いてくれる先行仲間を与えてもらい、他県から岐阜へ来てしてもらいました。だけどstep4 を書いている時から、step5 の事を考えていて、この先行仲間と言うのかな、と思っていたので、全てを書いてなく、自分でノートを読んでいても何を書いているのかわからない言葉で書いていて、とても読みづらかったです。

Step5 が終わって言われた事は、評価ばかり気になり、怒られたくないとか、嫌われたくないとかばかり書かれてある。もういい加減プログラムをしよう。嫌われてもいいから言っていくことをしようよ。という事など、話してもらい、その先行仲間の経験も話してくれました。他にも話してもらった事がありましたが、少し忘れちゃった。

私はとても嘘つきで、評価や、自分が傷つかない為や、嫌われたくない為に強迫的に嘘をつきます。岐阜へ来て、先行仲間とそういうのをやめていこうよと話しをしてもらい、自分も止めたいと思ったので「はいわかりました」と言いました。

けど、先行仲間とブランド物のバックの話の中で、「こういうバックがいいよねー」と話しをしていて、私は「そうですよねー」と言った時、その先行仲間突然「本当にそう思っているの？」聞き返されたことで自分は本当は良いと思っていない事がわかり、過去を振り返って考えると、自分に正直に言った事って少ないと思いました。あと step4 を読んでいて、私は男性に問題があり、ずーっとその事に対して、「ただ問題がある」としか言わず、どんなふうの問題があるのか言葉にして言ってきました。ダルクにつながる前は、好きな男性がいました。その人の事が好きではなく、ただその人が持っているお金が好きだったんですが、当時は気付いていませんでした。その男性と付き合っていたんですが、その人が浮気をしていると妄想が入り、私はその人の車を後ろから追いかけて、影隠れて遠くから見張ったり、マンションの近くに車を止め、待ち伏せしたけど、薬が切れて寝てしまい、気付いたらその人の車があったので「しまった、きっと女性を連れ込んでるんだ」と思い込み玄関のドアを朝6時～8時頃まで蹴り続け、男性はドアを5cmくらい開けて「もうやめて」とボソツと言われて、これ以上やったら警察につき出されるかもしれないと思い帰りました。こういうストーリーをするくらいその人に執着し、他の男性と絶対浮気はしないと、ある日薬を無料でもらおうと、この人いい良い人と思いつつ、すぐsex をしている自分で、一人の男性に対しては浮気をするのは許さないけど、結局自分はなんだかんだと思うが、やっている事は誰とでもsex している自分です。

岐阜に来て、step4 を読んだり、ミーティングの中で自分の男性関係の事を思い出して、言葉にしてみると「酷い」と思いました。だけど過去の男性との関係や仕事で自分と似た経験のある仲間の話を聞き、今はプログラムを使って、生き生きと恋愛に対しても仕事に対しても取り組んでいる姿は今の私に、大きな希望を与えてもらいました。

これから大変かもしれないけど、諦めないで希望に向かっていきたいと思っています。

※step4 人生の棚卸表をつくり、過去の行動を書きだすステップです。

※step5 書き上げた自分の人生の棚卸表を信頼できる人に聞いてもらうステップです。

## 仲間たちの職場体験

聞き手 岐阜ダルク 施設長 遠山香



Q) アルバイトに行き始めたのはいつからですか？

ウォーリー：施設に来てから11ヶ月、4ヶ月です。

ふみか：クリーンが2年の時から。去年の8月。

Q) 仕事はすぐに見つかりましたか？施設にいながらどうやって仕事を見つけ、また何か苦労はありましたか？

ウォーリー：なかなか見つかりませんでした。2ヶ月探しました。バイトを探してと言われて、半月は探しに行きませんでした。施設の方が楽し、楽しいから。だけど、施設長に「いいから行って」と言われ、しぶしぶ行くようになりました。僕には入れ墨が入っていて、長そでの所を見つかるのに苦労しました。

ふみか：ハローワークに行ったり、マラソンをしながら近辺の張り紙を見ました。NAを第一に考えて、自分のお酒の問題も考えて、いいものをメモして責任者に見せました。良かったところに面接に行きました。断られる事もありましたが、あまり時間はかかりませんでした。仲間の中と社会との違いで、面接の時にどこまで正直になればいいかわからなくて、失敗しながら、やり方を変えていきました。

Q) 仕事をするようになった今、どうですか？生活や心境の変化は？

ウォーリー：お金を稼ぐのが大変！！前は薬の為に働いていました。今は自分の交通費の為に働いています。毎月、給料日にお金がある！！前は、前借ばかりしていて、明細しかなかったです。今は、施設長に渡せています。勝手に使おうという気持ちもあります。給料日、派手に使おうと思います☆！！けど、毎回渡せています。すごい変化しています。

ふみか：最初は仕事が出来れば回復だと思っていて、鼻が伸びていました。4月から週5日とたくさん仕事をするようになって、社会にいる時間の方が長くなって、欲求や、勘違いで、「私も普通に飲めるんじゃないか」と思うことがあって、すぐに信念が揺らぎます。精神的にも大変で、仕事=回復じゃないと感じています。

ダルクでは、薬を使っていた時やっていた仕事はやめた方がいいとアドバイスします。

新しい仕事にチャレンジすることが、回復にとっても役立ちます。

仲間達が守られた環境（ダルクの中）から、社会に出ていろんな問題に直面しながらも、変わっていく姿に希望と喜びを感じます。（遠山）

※NA (Narcotics Anonymous) ダルクでは薬物依存症からの回復のためにNAのプログラムを取り入れて行っています。

※ダルクでは金銭管理能力回復プログラムとして、生活費を一旦施設で預かり、管理する場合があります。

「ひろみ」の

# Hawai 珍道中

編 華 野 川 玲 子

これよりハワイの旅に出発！！  
「いってきま〜す」



ギャザリング会場『キャンプモクレイア』

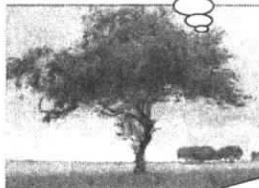
ハワイに到着！  
時差ボケだあ〜



4月15日からハワイのギャザリングに参加してきました。日本は東日本大震災があって、ハワイのメンバーも「津波は？地震は？」とその話題が多かった。そんな中、参加できたことに感謝し、青い空、青い海、解放された人々、そこに自分が居る事が素晴らしいと思えた。そして、普段狭い世界の中で、自分の問題で悩んでいる自分が小さく見えな気がした。感謝・（ひろみ）



この木何の木、気になる木発見！  
思わず1枚パシャ



仲間のパスディーケーキをもらった。ハワイのお菓子は甘い・・・



12 ココナッツのミーティング場に行った。本当に12本あるか、数えた・・・



ギャザリングが終わり  
ホノルルへ

時差ほけで寝れず、タバコを吸ってたら、朝日が昇ってきた。瞬間を取りたくて、何十枚も取ってしまった。その一枚！



ミーティング場で、なぜかホワイトキータックを貰った。



## えりなの HAWAII 珍道中 番外編



朝散歩していたら、ホノルルの街中でNAメンバーのコーリーと遭遇！ギャザリングでサービスをしていた仲間。オウム3羽と仕事。スピリチュアルという名前のオウム君がいた。



私達3人は車に乗ってパイナップル畑を走り回り着いたのはギャザリング会場モクレイア。言葉は全く通じなかったけど、ハグして、笑って、泣いて、踊ってともかく感動しっぱなし。ワイキキで仲間と再会をし記念に彼のクリーン4年のキータックをもらい、トランクのキーと一緒にしてある。こうやって仲間が増えていくなあと実感した旅行でした。（えりな）

今年もチャレンジ！！

## 岐阜市市民活動支援事業



今年も岐阜市市民活動支援事業の助成金に応募しました。6月4日にハートフルスクエアGの交流スペースにてプレゼンテーションが開かれました。3年目の応募です。1年目は責任者が、昨年はひろみが、今年はウォーリーが発表しました。ウォーリーと一緒にひろみが考え、出来ないところはサポートをして行いました。先行く仲間から、新しい仲間へ手渡していきます。ダルクの回復プログラムと同じです。今年3度目でこれで助成金の応募は終了です。新しい試みとして、保護観察所の協力を得て薬物依存症者が社会復帰支援のあり方について検討することを目的にしたパネルディスカッションを開催する事を計画しました。保護観察を受けてダルクに繋がった仲間の正直な話に会場に、来た人は「心を打たれた」と後から話をしてくれました。



発表するときはやっぱり緊張するなあ・・・ってなことで、2人で「み旨がおこなわれますように・・・」と祈って望みました。そのおかげか、いつも通りに話をする事が出来ました。

その結果、今年もこの助成を受けることが決定しました。たくさんの人の協力を得て、この計画が出来ることに感謝です。ありがとうございます。

## 活動報告

### 4月

- 2日 NA 患患病院メッセージ
- 7日 ダルク後援会議
- 8日 野宿生活者支援ボランティア
- 9日 薬物電話相談日  
依存症を学ぶつどい
- 11日 各務原病院メッセージ
- 13日 薬物電話相談日
- 15日 笠松刑務所薬物離脱指導
- 20日 ニュースレター発送作業
- 23日 薬物電話相談日
- 24日 岐阜ルーテル教会  
バーベキュー
- 27日 笠松刑務所薬物離脱指導

### 5月

- 5日 レクリエーション（動物園）
- 7日 岐阜市市民活動支援事業説明会  
スタッフ会議
- 9日 各務原病院メッセージ
- 10日 薬物電話相談日  
ダルク後援会議
- 14日 三河ダルクフォーラム  
薬物電話相談日
- 15日 ぎふ清流マラソンボランティア
- 22日 大垣キリスト改革派教会募金活動
- 28日 薬物電話相談日
- 29日 友愛キリスト教会募金活動
- 31日 笠松刑務所薬物離脱指導

### 6月

- 2日 ダルク後援会議
- 4日 岐阜市市民活動支援事業コンペ
- 5日 フリーマーケット
- 8日 薬物電話相談日
- 9日 保護観察所長来所
- 10日 野宿生活者支援ボランティア
- 11日 薬物電話相談日  
依存症を学ぶ集い
- 13日 各務原病院メッセージ
- 15日 海津明誠高等学校講演
- 17日 笠松刑務所薬物離脱指導
- 18-19日 NA 岡山オープンスピーカー
- 20日 理事会 総会
- 23日 笠松刑務所薬物相談離脱指導
- 25日 薬物電話相談日
- 28日 不破高等学校講演
- 29日 朝日大学講演
- 30日 NA 沖繩コンベンション

## 告知

高山市市民文化会館・小ホールにて

## 薬物乱用防止フォーラム開催

平成 23年 7月 30日(土)

13:00~16:30 (開場 12:30)

～夜回り先生からのメッセージ～「さらば、哀しみの青春」というテーマで水谷修氏をお迎えし、講演していただきます。入場無料です。定員400名で整理券を配布いたします。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

※前回のニュースレターで7月20日(土)と間違いがあったことをお詫び申し上げます。

# ダルク後援会より解説



岐阜ダルク後援会 広報担当 鈴木輝一郎

## △NA (Narcotics Anonymous) プログラムについて

アルコール依存症脱却プログラム (AA) を依存症全体に応用したものです。

依存症であることの自己確認、過去の行動の清算、人間関係の再構築などの 12 のステップから構成されています。

経験あるスタッフの指導と相互努力によって、継続的に依存症から脱却することを目的としたプログラムです。

## △なぜダルクには生活保護を受けている人が多いのか

読者から寄せられた質問です。

「生活保護が必要なほどにすべてをなくしたので、立ち直ろうとしてダルクにきた」から、結果的にダルクには生活保護の受給者が多い、ということです。病院に病人が多いのと同じ理由です。

ダルクでは生活保護の受給から脱却し、自立できることをめざしております。

## △ギャザリング (集会) について

参加費用は、みなさまからの寄付金からではなく、参加者自身の貯蓄によって行われています。

薬物依存症は「生きる喜び」も破壊する病気です。生きることの喜びと感謝を回復するのが、ギャザリングの重要な目的のひとつです。

## △その他のダルクの社会復帰プログラムについて

ダルクでの社会復帰プログラムは、NAのプログラムのほか、体力を回復するための運動プログラム、金銭管理能力回復、就労体験など、地道で多岐にわたっております。

どうか皆様がたのご理解とご協力をお願い申し上げます。



# 百万本のマンデナ

ふみか

平成22年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書  
平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

特定非営利活動法人 岐阜ダルク

科 目	金 額	
(資金収支の部)		
I 経常収入の部		
1 会費・入会金収入		
入会金	1,000	
普通会費	24,000	25,000
2 事業収入		
康楽料	385,412	
薬物離脱指導料	340,000	
バザー・フリーマーケット	128,177	
利用者入寮費	905,820	
その他	58,500	1,817,909
3 助成金		
地方公共団体	1,200,000	
民間	2,985,000	4,185,000
4 寄付金		
後援会寄付金	2,420,000	
一般寄付金	2,338,299	
募金	84,132	4,842,431
5 雑収入		
受取利息	184	
雑収入	53,000	53,184
経常収入合計		10,923,524
II 経常支出の部		
1 事業費		
薬物依存症者のリハビリテーション施設の設置運営	5,281,566	
薬物依存症者等の相談及び生活支援事業	801,916	
薬物依存に関する教育、講演会、研修会、セミナー、イベント等の	983,435	
薬物依存症者の福祉に資する広報事業	749,519	7,816,436
2 管理費		
法定福利費	224,092	
委託料	150,000	
通信費	48,271	
消耗品費	29,535	
修繕費	237,366	
水道光熱費	61,073	
賃借料	300,000	
租税公課	1,900	
寄付金	40,000	
雑費	16,000	
給費	5,345	1,118,602
経常支出合計		8,930,038
経常収支差額		1,993,486
III その他資金支出の部		
1 固定資産取得支出		
建物付属設備購入支出	488,951	
車庫運搬具購入支出	884,750	
什器備品購入支出	995,683	
その他資金支出合計		2,369,384
当期収支差額		-375,899
前期繰越収支差額		628,072
次期繰越収支差額		252,174

### 岐阜ダルクよりお願い

女性の入寮施設を設立したいため、岐阜市内で空き家を探しています。4・5名の入寮者が入寮できる3LDK程の物件を格安で貸してくれるよい情報がありましたら、お知らせください 連絡先 岐阜ダルク 施設長 遠山 TEL 058-251-6922

# ご協力ありがとうございます

## 献金者名 (3月20日～6月23日到着分)

櫻井公紀 カトリック名古屋教区社会福祉委員会 友愛キリスト教会 mizuki 上田千津子  
青井初恵 池田時造 伊佐冶金嗣 弁護士・神谷慎一 立垣昭 吉田ユミ子 須田裕  
普久原朝経 齊藤栄子 北谷雅春 弁護士・伊藤知恵子 弁護士・長澤清 岐阜合同法律事務所  
竹内義次 加茂保護司会長・古溪義正 櫻井康子 吉田洋平 亀田公子 養清工業(株)  
岐阜ルーテル教会 日本基督改革派大垣教会 宗像亮二 塚本恵一 鈴木輝一郎 渡辺真帆  
岡本晴美 吉田春江 安田和代 菊池剛聡 塚本恵一 安西玲子 多数の匿名のみなさま

## 献品者名

岩間裕子 藤田商店(株) 安西玲子

※発送作業簡略化のため皆様全員に振込用紙を同封させていただいておりますことをご了承下さい。また匿名希望の方は、恐れいりますが、その旨を振り込み用紙通信欄にその都度ご記入下さいますようお願い致します。  
郵便振替口座 00840-5-167752 岐阜ダルク後援会

いつも心苦しいお願いですが、慢性的に活動資金が不足しています。  
寄付金のご協力をお願い致します。

## ☆チャリティーコンサート開催のお知らせ☆

H23年9月23日(土) 多治見カトリック教会研修センター 大食堂 開演14:00～16:00(受付13:30)  
ピアノ演奏:林恵子さん ※入場無料…会場にて募金活動を行いますのでご協力おねがいします。  
美しいピアノの調べを聴きながら、癒しのときを皆様と過ごせる事を楽しみにしております♪

## 編集後記

△事務局をのぞいたらウォーリー君がパーマをかけてました。「『給料で派手に使うぞ!』と書いていたアレ?」「そうです!(ドヤ顔)」いいなあ。パーマかける髪があつて。(鈴木)  
△遠山施設長は四十歳、運動プログラムで炎天下を連日10km走破しているとのこと。「紫外線、怖くないですか?」「お肌をとるか健康をとるか、究極の二択ですよ!」だそうです。(鈴木)

編集 特定非営利活動法人 岐阜ダルク

編集担当 岐阜ダルク後援会 齋藤幸二 鈴木輝一郎

〒500-8175 岐阜市長住町7-3 TEL/FAX: 058-251-6922

Email: gifudarc2004@yahoo.co.jp ホームページ: <http://www.gifu-darc.org/>

2011年 岐阜ダルクニューズレター夏号(No.31)

定価 1部 200円

編集責任者 遠山 香

発行所 東海身体障害者団体定期刊行物協会

名古屋市中区丸の内3-6-43 みこころセンター

このつうしんは岐阜市市民活動支援事業の助成を受けて、作成と発送をしています!!